

みんなのポジトリ

国立民族学博物館学術情報リポジトリ National Museum of Ethnology

SER no.008; Cover, contents, and others

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2009-04-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10502/1205

中国における諸民族の文化変容と 民族間関係の動態

周達生・塚田誠之 編

国立民族学博物館 1998

中国における諸民族の文化変容と 民族間関係の動態

周 達 生 編
塚 田 誠 之

国立民族学博物館

1998

目 次

序 文	…… 3
第一部 中国諸民族における伝統的文化の変容	
解 説	周 達生…… 5
論 文	
“对福建省满族历史与现状的考察”	定 宜庄…… 21
“居住地域与文化变迁 ——以广东瑶族为例”	赵 家旺…… 33
“贵州诸民族的传统文化の変容”	岑 秀文…… 41
“中国諸民族传统文化及其变化 ——以贵州世居民族的制度文化为中心”	黄 才贵…… 51
“云南刀耕火种农业的变迁”	尹 绍亭…… 69
“龙江两岸的水族 ——水族族源及与壮族的关系”	陈 国安…… 79
“蛋民的历史来源及其文化遗存”	蒋 炳钊…… 89
“试论中国古代民族文物”	秦 晋庭…… 105
“浅谈西藏文化与面具艺术”	段 梅…… 117
“物质文化的渐变与突变”	夏 竟峰…… 127
“西藏农村的变迁 ——来自实地的调查研究报告”	徐 平…… 135
「ワ族の木鼓と始祖夫婦」	大林 太良…… 153
「モンゴルの葬送儀礼」	小長谷有紀…… 165
第二部 中国における民族間関係の動態	
解 説	塚田 誠之…… 183
論 文	
“民族研究——简述我的民族研究经历和思考”	费 孝通…… 207
“论中华民族的结构”	陈 连开…… 219

“团结、统一、进步	
——中国民族关系发展的历史趋势”	王 天玺……233
“中国民族关系的特点和发展趋势”	金 炳镐……235
“中国城市民族关系之现状与发展趋势”	郑 信哲……259
“经济因素与民族关系	
——又谈民族关系理论新探索”	袁 少芬……267
“元江发展模式与地方族际社会”	周 星……283
“加强民族团结、促进共同繁荣	
——四川处理民族关系新经验的探索”	伍 精忠……323
“从西藏正式归入祖国版图看中国民族关系的主潮流”	卢 秀璋……329
“南诏、大理国‘骠信’‘摩诃罗嵯’名号探源”	徐 琳……337
“中国西北和西南地区古氏羌族的关系”	李 昆声……349
“蒙古族、纳西族音乐文化交流的产物	
——《白沙细乐》”	毛 继增……355
「清朝末期莫力達瓦地方における達斡爾族の農業経営状況」	
	珠 荣嘎……359
“拉萨市区的居住格局与汉藏民族关系”	马 戎……371
「文語チベット語能格助辞の機能再考」	長野 泰彦……401
「民族間関係と『歴史』の記憶	
——徳宏タイ族のエスニシティと民族的境界をめぐって」長谷川 清……411	
「貴州省西部における民族間関係の動態	
——『屯軍の末裔』たちをめぐって」	塚田 誠之……427
「雲南における白族と漢族の関係	
——民族的アイデンティティの変化に関する考察——」	横山 廣子……449

序 文

本論文集は、1991 年度から 1993 年度にかけて実施された文部省科学研究費補助金（国際学術研究）による共同研究「中国諸民族における伝統的文化の変容に関する比較研究」（代表者：周達生）と、1994 年度から 1996 年度にかけて実施された文部省科学研究費補助金（国際学術研究）による共同研究「多民族国家・中国における民族関係についての総合的研究」（代表者：塚田誠之）の両共同研究の成果をまとめたものである。構成上、前者を第一部、後者を第二部とした。

中国は民族構成が多彩で民族間関係が複雑な多民族国家として知られ、「民族の時代」といわれる現今においてその動向が世界中の注目を集めている。80 年代以降、中国においては改革開放政策が推進され、大規模かつ急速な経済発展がもたらされた。

「現代化」が進展するとともに諸民族の文化が変容を遂げつつある。二つの共同研究のうち、第一部に成果をまとめた共同研究の目的は、諸民族の伝統的な文化がどのように変容したのか、あるいは変容しつつあるのかを理解することにあった。また、第二部に挙げた共同研究の目的は、民族集団相互の間の文化的・社会的関係について具体的な分析を行い、現地の具体例に即して中国の広大な地域における民族間関係のダイナミズムを総合的に把握することにあった。いずれの共同研究においても主要な対象地域となったのは、非漢族が集居する中国西北・西南・東北部などの民族集居地域であり、他の地域の場合とも比較しながら分析することとした。というのは、それらの地域においてはとくに複雑で入り組んだ民族間関係が見られ、またそれぞれの民族のもつ伝統的な文化についても、それが変容しつつあるプロセスをもふくめて、比較的容易に観察することのできる地域であったからである。もちろん、いわゆる周縁地域である民族聚居地区の他にも沿海の都市部を含むところの民族雑散居地区の場合との比較、また国家的政策の果たしている意義、さらに長期的なタイム・スパンを設定して歴史的背景を押さえることも、課題に対してより深く掘り下げた理解を得るためには重要なポイントであり、極力留意するようにつとめた。また、文化変容・民族間関係においては多様な側面がある。たとえば民族間関係に関する研究においては政治や経済的な側面のみならず文化の側面における関係も当然あり、そして文化には言語・音楽・物質文化など多くの要素がふくまれる。それゆえ、さまざまな視点から多

面的に分析をすることによって、幅広い理解が得られるようつとめた。なお、論文の長短については一応の目安を設定したが、基本的には執筆者の意向を重視した。

共同研究の形式は、日中双方の研究者による研究集会あるいは現地討議の開催、および現地での実態調査との両面を柱とした。諸民族の事情に精通し内外で注目を集めている研究者の参加を得て、組織的な共同研究を行うべくつとめたことはいうまでもない。

本書に収録した論文は両共同研究の分担者の手になるものを中心としている。共同研究分担者以外にも、国立民族学博物館に滞在中に研究集会にも参加した蒋炳钊（外来研究員）・李昆声（客員教授）の論文をもふくんでいるが、いずれも上記の研究目的に対して分析が不可欠な問題を扱っている。また、中国側研究者の論文は珠榮嘎氏の論文を除いてはすべて中国語によって書かれている。それは急速に進行している諸民族の伝統的文化の変容や民族間関係の動態について、現時点での調査報告を早期に公表する必要があると考えたためである。各論文の概要については、第一部・第二部の冒頭の解説において共編者である周と塚田とが紹介を行った（文中敬称略）。なお、本書の編集に関わるすべての実務は塚田が担当した。

平成10年9月25日 発行 非売品

国立民族学博物館調査報告 8

編 者 周 達 生
塚 田 誠 之

発 行 国立民族学博物館

〒565-8511 吹田市千里万博公園10-1
TEL 0 6 (8 7 6) 2 1 5 1 (代表)

印 刷 中西印刷株式会社

〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入
TEL 0 7 5 (4 4 1) 3 1 5 5 (代表)

**Cultural Change and Interactive Dynamics
among Ethnic Groups in China**

Edited by

Zhou Dasheng

Shigeyuki Tsukada